

祝神

議会だより

かみやま

第43号

2020. 2. 15

12月定例会



新しい議会構成	2～3頁
町長の諸般報告	5頁
令和元年度補正予算、条例制定、条例改正、その他	6～7頁
12月定例会 一般質問	8～13頁

第18期 議員紹介

令和元年12月15日執行の町議会議員一般選挙で新たに選出された議員を議席順に紹介します。なお、今期から議員定数が2人減の8人となりました。



高橋 義英
(阿野字南行者野・2期)



平岡 晴喜
(上分字江島・1期)



白土 義信
(下分字左右山・1期)



森 一博
(鬼籠野字喜来・1期)



新居 榮二
(神領字北上角・2期)



河野 雅俊
(神領字東青井夫・2期)



森本 孝夫
(阿野字神木・2期)



志甫 守
(阿野字本名・2期)

ご挨拶

新しい令和の時代の幕明けと共に、新年を迎えおめでとうございます。本年が皆様にとりまして、ご健勝でご多幸の年となりますようご祈念いたします。

さて、1月8日の初議会におきまして議員各位のご支持を賜り議長に就任いたしました。身に余る光栄に存じております。皆様のお力添えをいただきながら、神山町政発展のために誠心誠意尽力して参る決意でございます。

地方創生のモデルとして全国から注目されている本町でありますが、高齢者福祉、教育振興、農業振興、防災対策等々課題が山積しております。このような状況の中、執行権限を持つ執行部と議決権限を持つ議会とがお互いの権限を尊重し、車の両輪として町政の発展に寄与して参りたいと存じます。微力ではございますが、皆様のご指導ご鞭撻ご協力を切にお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

神山町議会議長 河野 雅俊

新しい議会構成

役職名	氏名
議長	河野 雅俊
副議長	森本 孝夫
総務文教厚生 常任委員会	委員長 新居 榮二 委員 高橋 義英 副委員長 志甫 守 委員 平岡 晴喜 委員 河野 雅俊 委員 白土 義信 委員 森本 孝夫 委員 森 一博
産業建設 常任委員会	委員長 白土 義信 委員 森本 孝夫 副委員長 平岡 晴喜 委員 志甫 守 委員 新居 榮二 委員 高橋 義英 委員 河野 雅俊 委員 森 一博
議会運営 委員会	委員長 新居 榮二 委員 森本 孝夫 副委員長 白土 義信 委員 森 一博
議会広報調査 特別委員会	委員長 高橋 義英 委員 志甫 守 副委員長 森 一博 委員 平岡 晴喜 委員 白土 義信
監査委員	高橋 義英
名西消防議員	河野 雅俊 森本 孝夫 森 一博

12月定例会は、令和元年11月21日から29日までの9日間の会期で開催した。提出議案は、令和元年度補正予算6件、条例の制定・一部改正4件、財産の取得について2件、規約の変更1件、議員発議案1件を審議し、すべて可決した。

一般質問では、6議員が登壇し、(8～13ページに掲載)それぞれ町の考えを質問した。

日	令和元年12月定例会議案事項	掲載頁
第1日	諸般報告 町長から行政等報告	5頁
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度一般会計補正予算(第4号)について ・令和元年度特別会計補正予算について (国民健康保険・簡易水道事業・介護保険・後期高齢者医療) ・町長等の給与に関する条例等の一部改正について ・職員の給与に関する条例等の一部改正について ・会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について ・地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について <p style="text-align: right;">【上程・審議保留】</p>	6頁～7頁
	<ul style="list-style-type: none"> ・財産の取得について(令和元年度神山町・佐那河内村情報基盤機器購入) ・財産の取得について(令和元年度学校用パソコン機器購入) <p style="text-align: right;">【上程・審議・可決】</p>	
第7日	一般質問 中谷秀久議員 杉本哲男議員 森本孝夫議員 高橋義英議員 佐出由恵議員 中野直行議員	8頁～13頁
第9日	《保留議案の審議》 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度一般会計補正予算(第4号)について ・令和元年度特別会計補正予算について (国民健康保険・簡易水道事業・介護保険・後期高齢者医療) ・町長等の給与に関する条例等の一部改正について ・職員の給与に関する条例等の一部改正について ・会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について ・地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について <p style="text-align: right;">【審議・可決】</p>	6頁～7頁
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度神山町一般会計補正予算(第5号)について ・名西消防組合规約の変更について 議員発議案 <ul style="list-style-type: none"> ・神山町議会委員会条例の一部改正について <p style="text-align: right;">【上程・審議・可決】</p>	

町長の諸般報告

令和元年12月定例会

【教育関連】

地方創生の一貫で「教育の魅力化」を推進。城西高校神山校への人気が高まり、入学希望者が増加。「神農祭」にも多くの方が来場され、生徒の皆さんの主体性が全面にでている学園祭であったと感じとれ、今後が楽しみである。

【農業関係】

先日行われた「大嘗祭」にも、本町と佐那河内村産のすだちが献上されたことは名誉なことである。生産者にとつて弾みがつき、町としても産業振興に支援していきたい。

【地方交付税関係】

歳入の約半分を占める地方交付税。景気回復基調が長期化する中で、一般財源見込総額で地方財政計画が策定され地方税等が脆弱な団体は更に厳しい状況になると予測。引き続き、経費削減と歳入確保に取り組み、財源の効率的な利用について創意工夫に努める。

歳出について、地方創生関連事業や子育て支援、高齢者福祉、老朽化した施設の更新等多額の経費が必要となり、計画的な予算計上を行い、健全な財政運営に取り組み。

【地方創生への取り組み】

国の総合戦略を勘案し地方創生の充実、強化に向け切れ目ない取組みを進めることが求められる。現行の神山町「まちを将来世代につなぐプロジェクト」を検証し、次期「地方版総合戦略」策定には、地域の特性に応じた検討プロセスを経ることが重要。経済圏域の取り組みも視野に入れ、行財政区域を越えた広域的な連携を考慮する必要がある。

次期総合戦略の策定作業は、来年度開始予定。これまでの流れを切らさないよう継続性、住民との協働といった視点を持って進める。

【会計年度任用職員について】

全国の地方公共団体にて臨

時・非常勤職員が増加し、様々な分野で活用され、地方行政の重要な担い手となっていることから、適正な任用、勤務条件を確保することが求められ、今回改正となった。新たに制度化された会計年度任用職員は、地方公務員法上一般職と同等の各規定が適用されることから、本町でも運用を抜本的に見直す必要があり今定例会に係る条例の整備、制定について上程する。

【防災】

全国で台風・豪雨被害等が相次いで発生する中、神山町は山あい集落が点在し、ひとたび災害が発生すると孤立する集落や避難遅れなどが懸念される。突発的な豪雨災害などにも迅速に対応出来るよう関係機関との連携や情報収集等を積極的に進め万全を期したい。

【一般会計補正予算】

総務費。石井町、那賀町、東みよし町、当町で構成する4町基幹系業務システムの共同利用に向けたクラウドサービス実施に向け、新システムへのデータ移管の費用を計上。

民生費、養護老人ホーム寿泉

園の入所者の居室を畳からクッションフロアへの変更と入口レールの改修の費用を計上。

衛生費、良質な飲料水確保のために実施している小規模飲料水供給施設対策の補助を追加計上。

農林水産費、林地台帳システムに、伐採及び伐採後の造林の届出等の制度などの機能追加の経費を計上。

商工費、保養センターの重油ボイラー修繕工事の既設ボイラーの撤去、基礎電源の見直し等による追加工事、新たに給湯チラー圧縮機取替工事費用を追加計上。

消防費、広石地区に再送信局を設置し各戸へ電波を再送信するための施設設置工事を計上。

教育費、神山中学校の大埜地区への新築移転にともない新たに取得する用地、既存施設の補償費などの不動産鑑定委託料を計上。

災害復旧費、災害関連の国費対象では農地1箇所と林道災害で4箇所を予定。公共土木災害関連の国費対象で町道6箇所を計上。

補正予算・条例制定・条例改正・契約締結

令和元年度補正予算

一般会計（第4号）	補正額	1億6139万円（49億9339万円）
（第5号）	補正額	42万円（49億9381万円）
国民健康保険特別会計（第3号）	補正額	55万円（8億4718万円）
簡易水道事業特別会計（第3号）	補正額	153万円（3億6629万円）
介護保険特別会計（第2号）	補正額	18万円（10億5129万円）
後期高齢者医療特別会計（第2号）	補正額	2万円（1億3208万円）

予算合計 補正額 1億6409万円（63億3936万円）
（ ）は予算総額

補正予算・条例制定・条例改正等の主な内容	
総務課	◎令和元年度一般会計補正予算（第4号）
	・職員研修委託料 37万円
	・電子化対応業務委託料 75万円
	・施設改修工事 400万円
	・基幹系システムデータ抽出業務委託料 5192万円
	・消防備品購入費 14万円
	・再送信局設置工事 1063万円
	◎令和元年度一般会計補正予算（第5号）
	・人件費過不足調整 42万円
	◎町長等の給与に関する条例等の一部改正について
◎職員の給与に関する条例等の一部改正について	
◎会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	
◎地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	
◎令和元年度財産の取得について（令和元年度神山町・佐那河内村情報基盤機器購入） 7128万円	
◎名西消防組合規約の変更について（定数変更等）	
税務保険課	◎令和元年度一般会計補正予算（第4号）
	・国民健康保険特別会計繰出金 55万円
	・後期高齢者医療広域連合過年度分療養給付費負担金 108万円
	◎令和元年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
	・一般被保険者医療給付費分 40万円
◎令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	
・人事院勧告による調整	
健康福祉課	◎令和元年度一般会計補正予算（第4号）
	・老人ホーム施設改修工事 169万円
	・国庫支出金等過年度分返還金 196万円
	◎令和元年度介護保険特別会計補正予算（第2号）
	・人事院勧告による調整

補正予算・条例制定・条例改正等の主な内容	
産業観光課	◎令和元年度一般会計補正予算（第4号） ・すだち消費宣伝用果実代 30万円 ・林地台帳システム整備業務委託料 308万円 ・神山町林業振興事業関係補助金 14万円 ・Wi-Fiポイント設置工事（鍋岩公衆トイレ） 30万円 ・神山温泉管理費 301万円
建設課	◎令和元年度一般会計補正予算（第4号） ・小規模飲料水供給施設応急対策補助金 200万円 ・支障木伐採委託料 30万円 ・ショベル等借上料 30万円 ・現年農地農業用施設災害復旧工事 150万円 ・現年発生農地農業用施設単独災害復旧工事 400万円 ・監督補助業務委託料 170万円 ・現年林道災害復旧工事 2850万円 ・現年発生公共土木施設災害復旧工事 1960万円 ・現年発生公共土木施設単独災害復旧工事 780万円 ◎令和元年度簡易水道事業特別会計補正予算（第3号） ・修繕料 486万円 ・水道管理費消費税 △332万円 ・広野区域ろ過施設建設工事申請事務委託料 △6万円
教育委員会	◎令和元年度一般会計補正予算（第4号） ・施設修繕工事 123万円 ・不動産鑑定委託料 422万円 ・特殊建築物定期報告管理委託料（改善センター） 33万円 ・特殊建築物定期報告管理委託料（公民館） 66万円 ・特殊建築物定期報告管理委託料（町民体育館） 16万円 ・避難所緊急安全対策改修工事 279万円 ◎財産の取得について（令和元年度学校用パソコン機器等購入） 4400万円
議会	【議員発議案】 ◎神山町議会委員会条例の一部改正について ※令和2年1月1日施行 ・総務文教常任委員会5人→総務文教厚生常任委員会8人 ・産業建設厚生常任委員会5人→産業建設常任委員会8人



令和元年第2回定例議会は12月9日神山町役場議場で開催した。

本定例会議では、議案3件を審議し、原案どおり可決した。

【議案第7号】
名西消防組合職員の給与に関する条例の一部改正について

【議案第8号】
平成30年度名西消防組合一般会計歳入歳出決算認定について

歳入総額 450、318、324円
 歳出総額 437、513、595円
 歳入歳出差引額 12、804、729円

【議案第9号】

令和元年度名西消防組合一般会計補正予算（第1号）について
 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2、674千円を追加し予算の総額を428、759千円とした。

一般質問



中谷秀久 議員

質問① 農産物の生産、保全について

町内の農産物の生産、保全について、すだち、梅、お茶などの神山町の特産物を生産する農家の支援を今後の考慮した方策はあるか。

高齢化に伴う後継者不足でかなり急速な形で減退するのではないかと不安がある。町として抜本的な対策が必要なのではないか。

答弁 産業観光課長

高齢化に伴う耕作放棄地の解消として、農業委員会、農地中間管理機構などを斡旋。また、新規就農への支援は、国庫補助

事業等を活用して行っている。

支援の受け皿になるような組織については、将来的に必要な性は感じている。現在、団体や法人ではフードハブプロジェクトや里山みらいが遊休農地を借りて耕作に取り組んでいるが、より広く繋がりをもてるような組織が必要になると思われる。

町としても、現状では今ある制度を活用して、農業振興に結びつけながら、将来的な取り組みの在り方について検討をしていきたいと考えている。

答弁 町長

農産物の生産、保全について、後継者が非常に不足しているところというのが最大の課題である。

里山みらいは、伴走型の支援として、生産者と里山みらいとJAさんと町とが共に一つのチームとなり、すだちに特化した就農支援に取り組んでいる。また、フードハブプロジェクトの農業部門においても、新規

就農を目指す方が現在2名、耕作放棄地あるいは後継者のいない農地等々をお借りして実習の現場としている。

元々の生産者、それから神山が気に入ってきて来られて農業をしたいという方々、高校生も含めて生産者一体となって、伴走しながら独り立ちできるように手法をとっていくというのが最良の方法と考えている。今後、時間がかかるが長い支援の方策を講じていくということが肝心と思う。

質問② 住民の選挙、投票について

住民の選挙投票について、運転免許返納者、高齢者の選挙投票が困難な有権者に対する方策はあるか。

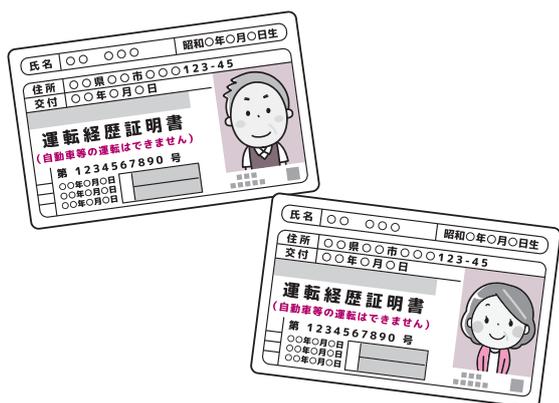
これからは、現状している次の段階の方策が過疎地域では必要なのではないか。

答弁 住民課長

運転免許返納者の方については、総務課の神山町運転免許証

自主返納者支援事業として、町営バス回数券、または徳島バス回数券を助成し、徳島バス株式会社では、運転経歴証明書を受けた方は普通運賃が半額となっている。

また、健康福祉課では、70歳以上で公共交通機関の利用が困難な方等を対象に高齢者等タクシー利用助成事業を実施している。選挙管理委員会としても、この助成事業を利用して、投票をして頂きたいと考えている。



一般質問



杉本哲男 議員

質問① 神山町ホームページの検索方法について

町のホームページは、他の町村から比べるとシンプルで非常に見やすいトップページだが、どこから入っていいかわからないという状況が見受けられる。スマートフォンでホームページを見ると、「神山はいま」検索ワードに入ってきてイベント情報、お知らせが下部にあり、スクロールしないと表示されない。神山町のイベント情報や交通規制の情報などタイムリーな情報を検索する場合、少しわかりづらいので、検索のタブを増やしたり、レイアウトの変更を

し検索をしやすくする方法はあるのか。検討はできるのか。

答弁 (総務課長)

神山町ホームページのトップページ「神山を知る・楽しむ」をクリックすると、神山の催し物やイベント情報、観光マップ、年間カレンダーなどを記載したページへ移動。下部へスクロールすると「お知らせ」の「神山を知る・楽しむ」のタブがあり、イベント情報の案内、その下には防災無線で放送した内容の記載がある。トップページ最上部には検索の小窓もある。

交通規制の情報について、現在はホームページには記載できていないが、今後検討をしたい。

再問

ホームページのメンテナンスをされていると思うが、画像などは古いのがあるように見受けられる。メンテナンス頻度は？

答弁 (総務課長)

メンテナンスについては、随時担当課から画面を入力してい

る。ご指摘のとおり、更新が遅れている部分も見受けられる。今後十分注意をしながら更新できるように、各担当に周知徹底したい。

以前は町長への問い合わせ、目安箱があった。皆様からの投書ができるように再度検討していただきたい。



神山町ホームページ トップページ



一般質問



森本孝夫 議員

質問① 上分の国道通行止めについて

上分府殿の国道438号の通行止めが、台風災害後約4ヶ月になる。神山と木屋平を結ぶ大切な道で、毎日利用されている方は大変多い。

国道の災害による通行止めについては、町には責任がないと思うが、大変困っている町民がたくさんいる。私共議員も要望活動などをするべきとは思っているが、町としても国や県に向かって何らかの運動をする必要があると思う。

町として、どのような取り組みをしているのか。

答弁 (建設課長)

事業を担当している徳島県東部県土整備局徳島庁舎からは、随時連絡をいただいている。詳細について確認したところ、「これまで道路の法面对策の設計を行い、山側の不安定な岩塊を安全に除去するため特殊な工法で対応することとなり、11月20日に工事に着手し、現在工事を全面展開している。年末を目前に緊急対策による暫定的な交通開放が出来るよう工事を進めている。ただし、夜間は通行止め



国道438号 (上分字府殿) 災害現場

を予定。その後、恒久的な法面对策工事を実施し、早急に全面開放が図れるよう努めている。なお、工事中は時間制限を予定している。」との回答。

町としては、徳島県が事業を執行しているが、早急に事業が完了し、通行の安全が確保出来るよう、引き続きお願いをしている。

質問② 神山町の商工業について

現在、神山町商工会では高齢化による廃業が多く、毎年会員数が減少している。例えば、神山町の公共事業入札時に、町外業者に対し「落札したら当該年度のみ神山町商工会特別会員に加入すること」などの文言を加えるなど、会員数の増加と商工会の維持への策も考えられるが、町当局のお考えは。

答弁 (産業観光課長)

今現在の契約書の中に、例のような文言はなく、今後も入れることは難しいと考えている。



一般質問



高橋義英 議員

質問① 神山町の防犯対策について

神山は、四季折々にいろんなイベントが開催され、また、桜のシーズンなどは駐車場に入りきらず渋滞するほど町外から観光に來られている。その反面、事件や事故なども増えてくると心配する。

近年、事件や事故などに活躍している防犯カメラは、事件や事故を映すだけでなく、犯人の足取りまで記録している。

神山町全域で防犯カメラはほとんどないと私は思っているが、防犯カメラがあることにより、町民の方が安心して暮らしていけるような町づくりができないか。学校周辺、大きな交差点、事故多発現場、本通りからの死角になる場所に設

置してほしいとの要望も多い。また、8月20日にドライブレコーダーによる町の見守り協定が結ばれ、この事業にご理解していただき、ドライブレコーダーの映像を提供してくれる方を呼びかけされたが、約3か月たちどれぐらい提供者が現れたか。

答弁 (総務課長)

広報かみやま9月号において提供者の登録を呼びかけたが、現在のところ登録者はいない。今後とも引き続き情報提供をお願いしたいと思っている。

防犯カメラについては、どこに設置する等の公表等は難しいが、引き続き対策をしたいと考えている。今後とも、防犯にかける啓発活動を積極的に実施し、地域の自主的な防犯、交通安全活動への支援を行いながら、町、警察、地域が一体となった防犯、交通安全体制の確立に努めていきたい。



防災カメラ設置状況

答弁 (教育長)

学校周辺への防犯カメラの設置について、昨年度の事業を利用して、学校周辺に防犯カメラをつけるという事で県の教育委員会と話ができていたが、「その事業では該当しない」という通告があり、現在のところできない。今後、またいろいろな方法で検討はしていきたいと考えている。

質問② 子供の体力向上について

小中学校のスポーツ環境について、神山の人口は急速な減少傾向にあり、当然子供の数も減少しており、スポーツ少年団や中学校の部活動ができなくなっている状況である。子供達がスポーツにおける興味や能力を発掘させるいろいろな種目に取り組めるような環境作りが必要だと思うが、町としてはどのように考えているか。

答弁 (教育長)

神山町の多くの子供達は、保護者の送迎やスクールバス、路線バス等で通学し、都市部の子供達に比べて歩く機会が少なくなっている。

そのため、各学校では体育や保健体育の授業を中心として、

また体育的行事や特色ある取り組みを実施。教育委員会では、スポーツ少年団球技大会、スポーツ少年大会カヌー大会、神山温泉すだちマラソンなどを実施し、参加を呼びかけ体力向上に努めている。

平成20年度から全国体力運動能力運動習慣等調査が小学校5年生と中学校2年生で実施されており、昨年度は体力合計点では、男女共に全国平均、県平均より高い状況になっている。

ただ今の部活動、あるいはスポーツ少年団については、だんだん人数が減ってきて、大変な状況であり、町として新たな方策をしていくというのは難しいが、皆様方のご意見を伺いながら検討していきたい。

再問

私が小学校の時には、1年生を迎える春の遠足など歩きの遠足や学校全体でオリエンテーリング等があったが、今後取り入れることはできないか。

答弁 (教育長)

遠足や学校行事については、学校長の権限に属することになっていく。そういった意見も踏まえて校長会等で指導や協議していきたい。

一般質問



佐出由恵 議員

質問① 学校給食について

学校給食は学校給食法により教育の目的を実現するための目標が規定されており、義務教育における給食のもつ役割は重要だと考える。

平成28年に学校給食センターが新築されたり業務委託による運営になったりと、学校給食を取り巻く環境が大きく変化している。さらに昨年度からは子育て支援として給食費の無償化も始まったが、その都度検証が行われているのか。

給食センターの新築時、調理器具が電気調理器に変わったことにより、食感や食味が悪くなったたり、業務委託になってから町産食材の使用割合や産地等

に変化はないのか。

無償化により「給食費払っていないのに意見を言い難い」等の危惧があるが、神山町学校給食センター設置条例に定められた学校給食運営委員会が機能し、保護者の皆さんのご意見を十分にお聞きできているのか。



児童生徒が考えた献立給食

答弁 (教育次長)

無償化になる前から、各学校で保護者向けに給食試食会を開催している。その時に栄養教諭から給食についての説明とアンケートを実施し「おいしかった」等の意見をいただいている。

児童生徒の給食は、一食あたり小学生310円、中学生340円で実施しており、地場産物活用状況は今年6月期の集計で49・5%で他町村より県

内産が活用できていると思っ
ている。

これからも、安心安全な学校給食を提供できるように心がけていきたい。

質問② 上分の国道438号の通行止めについて

神山町は、徳島県と神山町民の皆さんとのパイプ役として積極的に県に代って情報を発信する必要があるのでないか。

住民の皆さんが通行止めの立て看板だけでなく入札情報等を早くから知ることができていたら、安心されていたのではない

か。
生活に影響の大きい案件について、今後どのように対応することが可能か。

答弁 (建設課長)

国道、県道については、県が管理している。町としては県との連絡を密にして、情報提供共いただけるのであれば、防災無線あるいはホームページを活用してお知らせしたい。

質問③

入札情報などは県のホームページで調べられるが、町民一

人ひとりが入手することは難しい。いつ頃入札があるのかかわれば、住民のみなさんも目処がたつて安心できるのではない

か。
入札情報等を、情報としてお知らせすることは可能か。

答弁 (建設課長)

県発注の入札情報については、全てお知らせすることは難しいと考える。

節目での情報発信は、今回のように通行止めが長期に渡るものや素人では見通しがたちにくいものについては、住民の皆さんが安心して暮らせることに繋がるので必要ではないかと考える。



国道438号通行止規制看板

一般質問



中野直行 議員

質問① スダチの周年販売について

神山町はスダチの生産日本一と言われながら、観光客や一般の人が神山町内で買えるのは、夏から秋にかけての僅かな期間である。

道の駅や温泉等、場所を限っても、周年販売が出来ないか？

答弁 (町長)

日本一のスダチの産地を標榜しながら通年提供出来ないというのは心苦しい感がある。

現在、JA、里山みらい、町と県でタイアップしながら進めて行こうとしていた所、若干問題が生じ、現在は足踏み中であ

るが必要であると考えている。

質問② スダチ果汁の2次3次加工による商品開発について

スダチ果汁は、搾汁によりスダチ酢として販売され、主にポン酢等の原料となっている。農家にとっては加工用スダチも貴重な収入源でもある。原料としての販売だけでなく、単価を上げる為の商品開発が求められる。例として、スダチ酢と味噌でスダチ味噌を作り、そのスダチ味噌を使って、豆腐のスダチ味噌漬けや野菜のスダチ味噌漬、餃子のスダチ味噌ダレなどの商品開発が出来ないか？

答弁 (町長)

スダチ果汁の加工及び加工商品を作る過程で香りが飛んでしまう事が大きな欠点であり、今までいろいろ取り組んだがうまくいかなかった。

現在は、里山みらいでは、スダチ果汁の注文が殺到しているそうなので、今後、JAと里山みらいと共に商品開発のみなら

ず、現在あるものを流通させる事に傾注して行きたい。

質問③ 鮎喰川の観光、砂、砂利、石の資源活用特区について

鮎喰川は過去には大きな災害をひきおこしてきたし、現在でも一部地域には砂や砂利が堆積し、今後災害をひき起す不安要因にもなっている。

しかし、これらのマイナス要因をプラスに変える事も可能であると考えている。

砂を高く盛り上げれば、砂滑りのレクレーション基地になり、また、砂を畑に入れ土壌を改良すれば、根菜類に適した畑になる。砂利や小石は、農道や石垣の補修に重宝する。採取には当然場所を指定しなければ、かつての青石の盗難と同じになる。

また、川本体や支流についても遊歩道や吊り橋を架ければ、十分観光資源になるし、雨乞いの滝や神通の滝などは、年間を通じて楽しめる観光資源として

もっと活用すべきだと考える。かつて、一時期、砂の乱獲や不法採取により、多くの事が禁止されて来たが、今や多くの分野で特区として規制緩和されて来ている。

川の資源が、単に埋め立ての材料になるより、資源として活用出来る方が遥かに素晴らしい事である。全国でも例を見ない、鮎喰川の資源活用特区を考えてはどうか。

答弁 (町長)

鮎喰川は台風等により河床が上がったり下がったりを繰り返しており、現在は河床が下がって岩盤が露出している。

この状況から、砂やバラスの採取許可は特区として難しい。観光面では、活用の方法はありと思う。



すだち酢商品

議員研修

令和元年度町村監査功労者表彰式、 町村監査委員全国研修会に参加して

令和元年10月31日、11月1日
東京都メルパルクホールにて標
記の研修会が開催された。

町村監査功労者表彰式では、
徳島県上勝町の鹿島國男委員が
表彰を受けた。

研修会では、最初に日本大学
経済学部教授の石川恵子講師よ
り、「監査基準の策定とその活
用に向けて」と題して、平成29
年6月9日「地方自治法等の一
部を改正する法律」が公布され
た。

1、改正法は、監査制度の充実
強化の一環として監査委員
に監査基準の作成を義務付
けている。

2、監査基準（案）・実施要領
には、2つの柱がある。

①内部統制に依拠した監査
②定例監査、決算審査、例月
出納検査が有機的に連携し
た監査等

監査等を効率的かつ効果的に
実施することができるよう、リ
スクの内容及び程度、過去の監
査結果、監査結果の措置状況、
監査資源等を総合的に勘案し、
監査計画を策定するものとし
る。監査計画には、監査等の種
類、対象、時期、実施体制等を
定めるものとする。

次に、元自治大学校客員教授
公認会計士・税理士 池田昭義

講師より、「地方自治監査実務」
監査の定義

監査とは、企業経営に関して
作成された会計記録が適正であ
り、一般に認められた会計原則
に準拠しているかどうかを、そ
の記録を作成した者以外の第三
者が立証するために行なう手続
きである。地方自治監査におけ
る監査基準設定の必要性は、公
正にして効率的な財政の運営を
確保し、その社会的信頼性を高
めるとともに、その円滑なる運
営を図ろうとする点にある。監
査計画とは、監査委員が監査を
実施し、その結果を報告するに
あたって必要な証拠を入手する
ために遂行さるべき監査事務の
予定計画であり、監査対象事項
または項目毎に監査にあたって
準拠さるべき手続、その適用範

囲、必要な人員、必要と思われ
る日時等の見積もりをなすこと
をいう。

二日目は、公認会計士 中川
美雪講師より、「地方公会計の
見方について」地方公会計とは
地方自治体（都道府県や市町
村など）に、複式簿記、発生主
義の手法を用いて民間企業によ
うな財務書類（決算書）を作成
するものである。地方公共団体
における財務書類等の作成に係
る統一的な基準を設定すること
で、①発生主義・複式簿記の導
入、②固定資産台帳の整備、③
比較可能性の確保を促進する。
二日間に渡り3人の講師より
研修を受け有意義であった。

（河野雅俊）

全国町村議会議長全国大会に参加して

令和元年11月13日、東京都内のNHKホールにて、標記の大会が開催された。創立70周年記念式典が先に挙行された。

安倍首相をはじめ多くの国会議員ご臨席のもと盛大な式典となった。続いての大会行事は、台風等の自然災害についての要望や決議がなされ、実行運動方法が確認され閉会した。全国から町村議会議長、議会関係者が会場を埋め尽しての大会となった。

翌日14日は、徳島県関係者で、午前中名古屋のトヨタ記念会館を見学した。午後は兵庫県揖保郡太子町へバス移動して、太子町議会で議会行政視察を実施した。研修主題は2015年に竣工した議会棟を併せた新庁舎と、議会運営について研修した。総工費41億円費やした太子町の中核的施設として建設されたも

のである。人口34、190人の自治体としての規模、内容は本町のような小規模自治体としては比較参考にならない程の中核的施設であった。神山町の場合は、庁舎は中核的な位置付けではなく、各地域に分散したコミュニティ施設の充実が望ましいと感じた。議場は床がフラットで本町のように演壇式は多様な利用に支障があり当世主流ではない気がした。行政施設の充実も重要ではあるが、施設を管理運営する行政が町民の福祉に活力を生み出す工夫や努力が前提となることが不可欠であると感じた。

(西崎哲夫)



神 山 の 風 景

4K・VR徳島映画祭



11月22日～24日の3日間、広野小学校旧校舎を主会場に4K・VR徳島映画祭が開催されました。「しぜんと学び、未来と遊ぶ」をテーマにした4K・8K・VRなどの高画質映像による映画祭は今年で5回目となり、広野小学校旧校舎での開催は昨年引き続き2回目です。映画のほか映像体験、最新映像機器展示、セミナーなどがあり、普段は活用されていない空き校舎が終日賑わいました。

議会の動き

2月

14日 徳島県町村監査委員協議会定期総会

15日 議会だよりかみやま発行

20日 勝名地区町村議会議員研修会

26日・27日

財政援助団体及び指定管理団体の監査

28日 徳島県町村議会議長会定期総会

下旬 議会運営委員会

3月 3日 名西消防組合議会定例会

上旬～中旬 神山町議会定例会

13日 神山中学校卒業式

17日 広野小学校・神領小学校卒業式

25日 阿北環境整備組合議会

表紙写真説明

令和2年1月5日に町民グラウンドにて令和2年神山町消防出初式が行われた。強風が吹く中、飯泉知事ご臨席のもと、団員305人が集結。昨年、発足した女性消防隊のラップパ隊3名により開式のファンファーレ、国旗掲揚、一斉放水で信号ラッパが吹かれた。

編集後記

議会だより「かみやま」も43号発刊で10年を過ぎました。私も森本吉治前委員長より委員長を引き継ぎ、右も左もわからないまま何とか任期を終えることとなりました。

次回44号からは新編集委員メンバーにて議会だよりを発刊することになります。今まで各方向へ一方的な情報提供をお願いし、内容が偏った情報発信になっていたか、興味を持って読んで頂いているのか、不満を持っていないかなど委員会メンバーも試行錯誤しながら編集し出来上がった議会だよりを手にしては自己満足しておりました。

先日、他市町村の議会だよりを目にする機会があり神山町と比べて良し悪しが目立ちはじめた事により少しづつだが内容を変え努力をしてまいりましたが、大きく変わることなく新委員会メンバーに引き継ぐこととなります。

『議会だより』は唯一神山町議会や議員活動を見て(読んで)解って頂く手段の一つであることに変わりなく、町民の方々に町政や議会に益々関心を持って頂ける紙面作りとご協力をお願いすると共に、議会だより編集委員会メンバーの方々4年間ご苦労様でした。

(議会広報調査特別委員会委員長 杉本哲男)